



# かしま友愛

第30号

2016年1月1日

社会福祉法人  
加島友愛会事務局

大阪市淀川区加島1-60-36

☎ 06-6101-6601

## 第二期レインボープランの 策定に向けて

理事長 平田 純博

新年、明けましておめでとござい  
ます。

本年も皆様のご多幸を祈念申し上げ  
ますとともに、当法人の社会福祉事業  
に対するご利用、ご支援ご協力をお願  
い申し上げます。

本年三月には当法人設立二十五周年  
という節目を迎えます。「人の世に熱  
あれ、人間に光あれ」との設立初心を  
忘れず、心新たに地域福祉に邁進した  
いと存じますのでよろしくお願い申し  
上げます。

昨年度は、当法人の社会福祉レイ  
ンボープラン第二期に向け、第一期の目  
玉であるリユミエール加島の運営の健  
全化などの課題を達成する中で、さま  
ざまな取り組みをしました。

その大きな取り組みとして、第二期  
の新規事業を展開するための事業用地  
確保について大阪市の所有地売却の競  
争入札に参加し、三月には旧加島人権  
文化センター跡地(約二、〇八四㎡)  
を、十一月には旧市営住宅一・二号館  
跡地および旧加島老人福祉センター

(約二、二三六㎡)を取得しました。

加島地域ではかつて同和对策事業と  
して改良住宅・共同浴場などが整備さ  
れましたが、その敷地を所有する大阪  
市は次々と売却する計画をたてていま  
す。改善事業が一定の成果をみて、今  
日の大阪市財政状況から売却計画が進  
められていると推察するところです。

本年の重要課題として、この購入し  
た敷地を活用してレインボープラン第  
二期の社会福祉事業の内容を策定する  
ことがあげられます。

この機会に、行政依存型でなく地域  
住民が主導する『平和・人権・福祉の  
町づくり』が『自立・連帯・共存』を  
醸成する形で展開できないものか、皆  
さまとともに検討したいと考えており  
ます。

その一環として、廃止された加島・  
三津屋から十三市民病院・淀川区役所  
へ巡回する福祉バス運行を、淀川区役  
所の協力を得て私ども加島友愛会の手  
で法人設立二十五周年記念事業として  
再開実施する考えであります。

社会福祉事業をめぐる状況も社会保  
障費抑制の流れの中、厳しいものがあ  
りますが、加島・三津屋地域をはじめ  
地域の福祉増進をめざし役員・職員一  
同頑張っていく決意ですので、皆様の  
ご支援、ご協力を重ねてお願い申し上  
げ新年のご挨拶いたします。

## コラム

### かしまの光

ある雑誌に、「二

〇二五年には日本の  
認知症患者・認知症

「予備軍」の人口が一千万人  
を超え、人類の歴史でも例を  
見ない事態が迫っている」と  
いう記事が載っていた▼また、  
「団塊の世代の八百万人が七  
十五歳を超える後期高齢者と  
なり、現在のような高い水準  
の介護・医療サービスを行き  
渡らせることは不可能」とも  
あった▼十人に一人が認知症  
ともなれば、単純計算で少な  
くとも現在の夫婦の十一組中  
一組が、ともに認知症になる  
らしい▼日本はこれまでにな  
い「認知症」超「大国への道」  
を突き進んでいることは間違  
いない。「待ったなし」の状  
況下である▼これに限らず、  
社会保障費の財政破綻、非正  
規職員の増大と低賃金化、福  
祉・医療の人材不足など、課  
題は山積みである。課題解決  
の「特效薬」はないものだろ  
うか。

## アンダンテ加島

アンダンテ加島の森本亜紀彦（副主任生活支援員）です。

アンダンテ加島では、平日は作業（受注作業・洗濯作業・外作業）や日中活動に分かれて、作業や利用者の方一人ひとりに合わせた活動を行い、休日には余暇活動を行なっています。主に軽食・カラオケ・銭湯等の外出や、施設内で栄養士とともに料理を作る活動を行なっています。これらはスタッフが企画し、毎月どの利用者も参加できるように配慮しています。

しかし、週末の余暇活動はグループでの活動となるため、個々人に合わせた活動は難しくなります。そのため、回数は限られますが、必要に応じて平日の作業・日中活動の時間帯に、個別または少人数で、利用者のニーズにできる限り応えるような外出をしています。行き先はさまざま、観光や見学（城・寺院・博物館・あべのハルカスなど）・映画鑑賞・軽食・プール

・買い物などがあげられます。個人または少人数のため、利用者の希望や好みに合わせて柔軟に対応できることで、週末の余暇活動とは少し違った利用者の一面を知ることができ、新たな発見もあります。

また、「社会経験を積む」「利用者と一緒に楽しむことを通して、よりお互いを知り信頼関係を築く」ことを目的として外出することもあります。

「重度・高齢化」が進む中で、こうした取り組みは利用者の方が楽しめる良い機会となっており、今後も継続して取り組んでいきたいと思えます。



個別余暇で食事を楽しむ

**特集 私の施設・職場の紹介します！**

加島友愛会には多様な施設・事業所があり、三百名を超える職員が働いています。同じ法人にいなながらも、なかなか他の職場のことはわからないもの。そこで「自分の施設・職場のいいところ」「こんな取り組みやっています」を紹介してもらいました。皆さん頑張っています！

## リュミエール加島



リュミエール加島の生活相談員の河村孝一です。

なかなか入居者とゆっくり関わることはできませんが、フロアに出ることによって入居者の方の訴えや要望を聞き取り、

より良い生活ができるよう援助しています。

先日、防災訓練（地震津波対策）を行いました。数名の方に外階段を使用して4階まで上がっていただいたり、居室前に出てきて待機していただいたりと、皆さん率先して参加してくださいました。

また、訓練終了後の反省会で、救護用担架を体験される方もいらっしゃいました。

「建物が新しい」「お風呂がきれい」等のハード面の良さだけでなく、「さまざまなことに入居者様を中心に、一緒に施設を作り上げていくことができる」…これがリュミエール加島のいいところだと感じています。

## かしま障害者センター

かしま障害者センターの胡麻陽子です。

かしま障害者センターは、むつみ、Link、COCOLO相談支援センター、グループホーム事務所、ル・プラスの各事業と法人本部事務局が入る複合施設です。

職員は働くことのサポートから生活全般の支援や相談業務など、それぞれ専門性が異なった職員構成になっています。普段はそれぞれで活動を



夕涼み会でバンド結成

しているのですが、お互いの活動内容など詳しくはわからないこともありますが、いざという時にはすぐに相談し、協力しあうことができるので、お互いに自然と視野が広がり、良い刺激になっているのではと感じています。そういった迅速で柔軟な対応ができるところがセンター職員の強みだと思っています。

センター内の事業体系は年々変化し、職員数も増えていますが、それぞれの専門性を互いに高めていき、利用者一人一人のより良い地域生活を支援していきたいと思えます。

## 加島希望の家

加島希望の家の小幡美和子です。

希望の家のいいところを紹介します！

今年で希望の家は開設25年を迎えます。開設当初からの利用者も沢山いらっしゃり、利用者さんと長いおつきあいができています。長い間利用していただけることで、利用者さんのさまざまな様子が知ることができます。

利用者さんには重度な方が多く、うまくことばを出したりや想いを伝えたりすることが難しい人も多くいらっしゃいますが、時間をかけてその人にあった支援や安心して過ごせる場所になるようにしていきたいです。

希望の家は、私を含め子育てしているスタッフが多い職場です。支えてくれる先輩・後輩・仲間がいるのは心強く、また支援内容をみんなで考え、

意見し相談ができるのは、この職場のいいところだと思います。

利用者さんもスタッフも楽しいことが大好きで季節感のあるイベン

トも沢山企画しています。これからも日々の何気ないことも楽しみに変えて利用者さんの笑顔が見ることのできる職場にしたいです。



## ル・プラス

ル・プラス管理者の市村賢一です。

豊中市にあるA型作業所ル・プラスでは、9月から作業の受注方法や内容を変更して、作業量が大幅に増加しました。私たちのクリーニング業務は夏場の



取扱量がとても多いのですが、季節の過ぎた冬も

6台の業務用洗濯機は休みなく動いています。

ル・プラスでは、決まった休みは日曜日だけです。祝日も土日も開所しているので、勤務はシフト制です。



30名の利用者職員と14名の支援スタッフで日々業務に取り組んでいます。

今年の5月で開設から丸3年になります。最近是有給休暇を活用して家族と旅行に出かけたり、出身施設のイベントに参加したりするといった利用者職員も増えてきました。これからも仕事も余暇も充実した就業生活を送ってみたいと思います。

## 淀川区西部地域包括支援センター

## よろず相談窓口を開設

淀川区西部地域包括支援センターのセンター長の 大野修平です。

淀川区西部地域包括支援センターは2011（平成23）年4月に大阪市から包括的支援業務を受託した高齢者のための総合相談窓口です。担当する圏域は加島と三津屋地域です。

センターは「総合相談窓口」ということですが、その業務内容は相談支援だけにとどまりません。圏域内にお住まいのご高齢者が住みなれた地域でいつまでも安心して生活し続けられるように介護・保健・福祉に関係する様々な取り組みを、地域の皆様や関係機関との協働のもと展開しています。今回はその一部を紹介します。

昨年11月1日、三津屋地域のご高齢者やその支援者を対象とした総合相談受付窓口『よろず相談受付窓口』の取り組みがスタートしました。

センターが開設されて以降、三津屋地域で受け付けた相談の中に早期発見・対応がかなわず重度化した相談事例が多かったことから、「身近なところで気軽に相談できる窓口をたくさんつくり早

期発見・対応につなげる」趣旨のもと、地域諸団体とセンターの間で概ね一年間にわたり何度も話し合いを重ねて実現したものです。

具体的には、三津屋地域14町会の会長、民生委員、8つの医療機関、5つの居宅介護支援事業所、一つの訪問介護事業所に相談を受け付けるだけの窓口を担当していただき、受け付け相談を個人情報に配慮した所定の手続きによってセンターの相談支援につなぐというシステムです。

相談受付窓口の中には写真のようにのぼりやステッカーを目印としているところがあります。

この取り組みを通じて、三津屋地域のご高齢者にとってより暮らしやすい地域となることを願っています。



# いろいろな「秋」を満喫

昨年の秋は穏やかな天候の日が多く、いろいろな行事を楽しむことができました。

十月二十七日・二十八日に、三階テラスで焼きイモを実施。焼肉用のドラムを借りてきて、おイモを焼きました。(写真①)

十一月八日の午後は、ボランアグループの一芸一座の皆さんによる野点の日。春と秋の二回、来ていただいています。

四十人ほどの方がお茶を召し上がられました。(写真②)  
また日曜日の午後、月に一度のペースで、向かいのアンダン



焼きイモ



一芸一座・野点

「アンダンテ 喫茶」



日帰り旅行

テ加島の利用者・職員がボランティアに来てくれ、喫茶を担当していただいています。

入所者の皆さんも、いつもとちがう喫茶の雰囲気を楽しんでいただいています。(写真③)

恒例の日帰り旅行は昨シーズン三回実施し、神戸・どうぶつ王国と南京町へ。

小雨に降られた日もありましたが、皆さんに満足していただけたと思います。(写真④)

今年もいろいろな取り組みをしていきたいですね。(桑野)

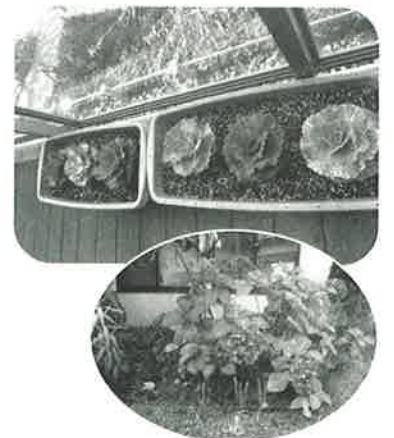
リュミエール加島の植物について紹介します。

風呂の坪庭は、松竹梅を配したヒノキ風呂ともみじの紅葉が楽しんでいただける岩風呂と、和風の植栽です。玄関は右手にスモークツリー、とうかえで、アジサイが、トレフルの前にはマロニエ、はなみずき、紅花トキワマンサク等が配置されそれぞれに季節を彩っています。

二階食堂のテラスは、いつも入居者のみなさんに植えたもらったプランターのチューリップ、水仙、クロッカス等が春に色とりどりに咲き楽しませてくれます。咲き終わった水仙の球根を



## リュミエール加島の緑



アジサイの側に植えたり、少しずつ表の庭が変化してきています。

どなたかこっそりトレフル側に差し芽された松葉ボタンが鮮やかな赤紫の花を咲かせ、これまたいつの間にか置かれたカニサポテンも加わってほどよく調和しています。

秋にみなさんに植えてもらった葉ボタンが順調に育ち、二階食堂テラスで陽光を浴びて新春を寿いでいるかのようです。

施設建設時に西之町会と相談して植えた公園の桜も、春になれば咲きほころぶことでしょう。緑豊かなリュミエール加島です。(高階)

淡路島のイングランドの丘に行きました

今年度の日帰り旅行は9月30日に淡路島の「淡路ファームパーク イングランドの丘」に行きました。

昨年は台風が多く心配でしたが、皆さん思いが通じたのが青空にめぐまれました。希望の家の前に観光バスを見つけると利用者さんも笑顔がこぼれています。

道中も車内は賑やか、明石海峡大橋にかかるトンネルが一段上がった声が聞こえていました。

パークに到着すると旅行の一番の楽しみ、バーベキューです。一齐にスタートすると会場は煙と「おいしい！おいしい！」「焼けたよ！」「お肉のせて～」と盛り上がった声でいっぱいになりました。

お腹がいっぱいになったあとはグループに分かれて楽しみました。収穫体験のグループはサツマイモ畑へ、少し掘っただけでびっくりするくらい大きなサツマイモができました。皆さん夢中で掘っては袋へ！たくさんとれました。



バター作りのグループはミルクの入った容器を上下しています。係の人から「止まるとうまくできませんよ」と説明があったので夢中で振り続けました。できたバターはパンにつけておいしくいただきました。

また、散策グループはゆっくりパークをまわりながら、きれいな花を眺めたり、ゆっくりお土産を選んだり、それぞれパークを楽しまれました。

希望の家では行事があると、スタッフが集まって実行委員会をつくります。行き先や現地の活動・時間配分など利用者の皆さんが楽しいと思ってもらえるよう色々な意見を出し合って話し合います。利用者さんの笑顔で委員会が充実し、これからもチームワークで皆さんに楽しんでもらえる活動を作りだしたいと思います。(真嶋)

一泊旅行で楽しい思い出

アンドンテ加島



10月6日から7日にかけて、一泊旅行で名古屋に行ってきました。利用者16名、スタッフ11名と大所帯での旅行です。

バスでの移動でしたが、移動中もわくわくして終始笑顔の方や、行き先を何度も確認してくる方など、それぞれに旅行の楽しみが伝わってきました。

1日目はビール工場の見学でした。見学の内容は少し難しかったのですが、工場の建物が大きくて、その大きさに圧倒されました。みんなで缶ビールが箱詰めされている様子やビールがたくさん運ばれている様子を見学しました。見学の後

は美味しいビールやジュースを試飲することができて、皆さん満足された様子でした。

旅館の部屋もとても過ごしやすく、のんびりとくつろぐことができました。いつもと違うお風呂でしっかりと汗を流し、夕食は宴会場でごちそうをいただきました。お刺身や茹でガニといった普段食べない海鮮料理、さらには生きたエビまで出てきたので、食べるのにビックリされていました。夕食の後はカラオケで楽しみました。カラオケでは盛り上がり、皆さん笑顔で私たちスタッフも嬉しくなるほどでした。

2日目は名古屋港水族館に行きました。到着してすぐにイルカショーが始まったので、ほとんどの方がイルカショーを見に行きました。イルカが音楽に合わせて飛び跳ねたり、踊るようなしぐさをしたりしているのを見て楽しみ、ショーの終わりには大きな拍手をされていました。

帰りのバスの中では疲れて寝ている方もおられましたが、充実した旅行でした。多くの皆さんの笑顔を見ることができて、楽しい様子が私たちスタッフにも伝わってきました。

帰ってからも「楽しかった」という声を聞くことができて、私たちも嬉しくなります。旅行で楽しい思い出を作る事ができたことで、私たちスタッフも体の疲れもどこかに行ってしまう、「来年も楽しみです」と、笑顔で伝えることができました。(加藤)

## 「かしま にんげん ふえすた」に出店

Link

昨年10月17日、加島小学校PTA主催の秋祭り『かしま にんげん ふえすた』にLinkのOB会が出店しました。

Linkから企業等へ就職をした利用者が集まるこのOB会は今年で結成9年目を迎え、100名を超えるOB利用者で構成されています。

『にんげんふえすた』での出店も3回目となる今回は、ホットドックを調理・販売しました。朝から準備に集まるOBさんたち。キャベツを千切りにしカレー味に炒める人、ウィンナーを焼く人、盛り付けと仕上げをする人…その役割分担も皆さんでテキパキこなしていました。



小学生を中心としたお客さんを前に「いらっしゃいませ!」「ホットドックはいかがですか」と販売も上々の盛り上がりでした。

完売した際には、同士で労をねぎらう姿もあり、普段の仕事とはまたひと味違う達成感を得ることができたのではないのでしょうか。

爽やかな秋空に映えるOBさんたちの笑顔が、思い出に残る一日となりました。

かしま障害者センター

## ピープルファースト全国大会に参加

### 地域生活支援部

昨年の11月に毎年恒例となっているピープルファースト全国大会に参加してきました。今年は神戸で開催されました。昨年の沖縄と違い、交通の便もあってか

参加者数は1000人を超える規模となりました。

ここ数年は韓国からの団体も大会に参加しており、韓国での障害者制度についての報告もありました。韓国でも障害者の当事者活動が盛んになってきているようで、ピープルファースト大会の開催をめざしているそうです。

分科会でも韓国からの参加者と一緒に活動する場面があり、通訳の方を挟んで取り組みました。参加された方は普段できない経験ができたと思います。



## 運動会をしました!

### むつみ

11月7日、むつみの運動会をしました。

今回は玉入れでスタッフが籠を背負って動くようにしたり、障害物競走の内容を変更して一人一人が参加しやすいよう工夫し、どの競技も全員参加で楽しい会になりました。



綱引きでは綱をそっと持っている人もいれば一生懸命に引っ張っている人など様々でしたが、「オーエス!オーエス!」と盛り上がりました。もちろんリレーやフォークダンスもしました。

いろいろなハプニングもありましたが、みんなの笑顔がたくさん見ることができ、楽しかったです。



写真で見る

2015年の加島友愛会



理事会

【5/23】 2014年度の事業報告・決算報告を承認



田植え・稲刈り

【5/24・10/17】 21回目を迎える田植え・稲刈り交流



夕涼み会

【7/25】 かしま障害者センターにて夕涼み会を開催



敬老会

【9/23】 加島地区の敬老会に加寿苑音楽クラブが出演



定川区福祉実践賞

【10/14】 第1回「定川区福祉実践賞」でのLinkの「ぬいぐるみが結ぶ、海外の福祉施設との絆～社会とのつながりと仕事のやりがい～」の取り組みが銀賞を受賞



リュミエール加島 もちつき

【12/6】 浜之町会と合同で

櫻井副理事長逝去

当法人の副理事長である櫻井薫氏が、昨年七月七日入院先で逝去されました。六十五歳でした。

櫻井氏は、一九七〇年代より部落解放同盟加島支部の活動に携わり、教育・福祉・街づくりなどの課題を担当。一九九七年からは加島友愛会の理事（一九九九年から常務理事）、二〇〇九年からは副理事長として活躍をされました。十二月八日には、友人・関係者による「偲ぶ会」を開催され、故人との思い出を語り合いました。謹んでご冥福をお祈り申し上げます。



2013年12月の理事会にて



◀平田理事長が思い出を語る

# 日本の福祉サービスを見直す機会に

## ベルギー・オランダを訪問

常務理事・かしま障害者センター館長 酒井 大介

昨年九月一日〜十一日までの十一日間、公益財団法人社会福祉振興・試験センター及び株式会社社会福祉施設経営管理者会主催の社会福祉施設経営管理者海外研修・調査派遣団一員としてベルギー・オランダに視察へ行かせていただきました。

個人的な目的としては①ベルギー、オランダ共にEU加盟国として福祉施策の現状と課題がどのようなものか②古い建物や景観を大切にしている両国でバリア

フリーの現状がどのようなものなのかを主眼におき、研修参加にあたりました。

訪問先は両国とも保育所・障害者施設・高齢施設・ヘルパー事業所などです。それぞれ短時間での視察のため、支援や介護の実践までは確認することはできませんでしたが、ベルギーについては、しっかりと制度の枠組みが決まっているという感じではなく、柔軟な発想で介護サービスが提供されているという印象です。反対にオランダの方は、財政面の課題と制度利用の格差是正を目的に、福祉制度の改革中であり、いろいろなことがルール化され始めていました。

制度格差の解消が反対に利用抑制につながる危険性もあると改めて考えさせられました。

また、ベルギー・オランダともに高齢化問題にどう対応していくかが課題であり、これは先進国共通の課題であることも改



ベルギー：アシスタント付き住宅



オランダ：街並み

めて痛感しました。

同時に日本の制度においては定義やシステム等の設計が堅牢なつくりであることも感じまし

加島友愛会のホームページがリニューアルしました

ぜひ、のぞいてみてください!



<http://www.kashima-yuai.or.jp/>

### 求人案内

#### 加島友愛会の施設で働きませんか?

介護職員（高齢部門）・生活支援員（障害部門）を募集中



顧客満足度だけでなく従業員満足度も追求しています

求人内容等はホームページをご覧ください

た。これからの福祉サービスについては、今後も増え続けるニーズに対応するため再考が求められています。いち早く高齢社会に突入する先進国として持続可能なシステムのモデルを示していくことも大切な役割だと思っています。

建物やバリアフリーの状況を研究することも個人的な目的に挙げて参加しましたが、ベルギー・オランダの建物の外観はとても魅力的で今後の施設整備を進める際に参考に取り入れたいと考えています。